

2017年度 事業報告書

2017年 1月 1日から 2017年 12月 31日まで

認定特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1 事業の概況

2017年度は、前年度繰越金50,336千円を引き継ぎ、事業を開始しました。事業資金は期初予算を上回り、160,754千円となりました。

学校選定を慎重に進め、22校を建設（完成済は13校、9校は建設中）しました。2005年の事業開始以来13年間で累計272校となりました。今後とも新規事業への挑戦・事業基盤の強化を図りつつ、事業の継続に全力を尽す決意です。

ラオスでは昨年に引き続き、サラワン県ラオガム郡ヴァンプーアイ地区に中学・高校一貫校を完成しました。地域内にAEFAが建設した小学校からの生徒が通う基幹校となりました。今後とも教育環境の総合的充実を図るプロジェクトとして推進します。こうした一貫校の推進により、村を纏める求心力・村発展への推進力も高まり、また村同士の融和も進みます。現地の人々と共に必要な支援を考え、自主自立を促し・見守り・共に歩むと言う「AEFAプロジェクト」が日本の海外学校建設支援モデルになるよう、一層の努力を継続致します。

交流事業は、日本の小中学校とのフレンドシップ交流を中心に展開。出前授業は77回実施し、累計は650回となりました。東京都教育委員会から紹介の出前授業を活発に継続（35回実施）する一方、福島県・福井県など地方での出前授業も継続推進しました。

2017年度も、支援者の参加意識（現場への参加や成果の実感）の深化に努めました。その結果、学校建設だけでなく教育の質的向上支援、交流事業への参加など、新しい取組に進化しています。また、こうしたAEFA事業の独自性が評価され、新規支援者（7人・2社）、継続支援者（1人・8社）も増加し、支援額は158,398千円となりました。

フレンドシップ交流と出前授業が定着し、子供達からの支援も継続しています。日本の生徒たち（36校）からの支援総額3,257千円、13年間累計では24,182千円になりました。学校の国際交流事業への理解が深まっている証とも言えましょう。学校からの寄付が集まるNPOは極めて例外的であり、AEFAとしては今後とも教育現場との繋がりを維持・強化していきます。

AEFA事業推進に重要である現場主義の徹底を図っています。理事・スタッフ・参与の現地出張は17回（理事長7回・事務局長3回・山川2回・理事/参与5回）となりました。また、AEFAボランティアによる現地出張視察も4回となりました。これらボランティアにアドバイスしつつ、彼等の協力も得て、21校の開校式を実施しました。

尚、会員数は個人会員178名、法人会員13社、会費収入は昨年比465千円増の1,900千円になりました。今後とも、会員拡大に努めると共に、ボランティア、AEFAサポーターの輪を広げる努力を続けます。

2 事業の成果

1) 学校建設事業について：事業費＝建設費/126,170千円＋活動費/10,115千円＝136,286千円

本年度も継続支援者や新規支援者から多額の支援を受け22校を建設。国別では、ラオス12校、ベトナム8校、タイ1校、スリランカ1校となりました。また今年度もスリランカでの建設が実現し1校追加建設することができました。

AEFAの活動理念を理解し、共感する支援者が増加するに伴い、ソフト事業の支援強化もできました。ベトナムでの奨学金や、冬服支援を通してものを大事にする心を醸成するプロジェクトは、ドンズー日本語学校との協働事業です。また、ラオスでの職業訓練校へ通うための奨学金の継続に加え、ラオス・サラワン県における「教員研修」、子供の権利保護プロジェクト、を継続実施しました。

建設事業はAEFA事業開始以来、順調に進展し、結果として、累計ではベトナム159校、ラオス92校、タイ14校、スリランカ4校、中国2校、ネパール1校、の総合計272校（AEFA独自資金156校・日本財団

116校) となりました。

AEFAとしては、これら既建設校のフォロー事業が次なる課題となってきます。

*2017年度建設校一覧・・別表(1)

2) 国際交流事業について：事業費＝交流費/6,030千円＋活動費/4,226千円＝10,256千円

(1) 日本の学校とのフレンドシップ交流の深化

本年度は36の学校が活発な交流を行いました。子供たちの交流だけでなく、出前授業には保護者が参加するケースも増えました。

- ① 3月には、神奈川県・鎌倉学園の第三回ベトナム研修ツアー(生徒30名・教師2名)を支援。現地における運動会の開催及び子供達との交流を実施。生徒達の意識改革に大変役立ったとの評価を得ました。これが引き金となり、クアンナム省ホアンバントゥ小学校を生徒達の資金で建設することが決定。2018年3月に開校式を実施予定です。今後の継続や他校への展開が期待できます。
- ② 7月にはフレンドシップ校の多い、福井県坂井市などで出前授業を6校で実施するとともに、児童達との触れ合いの場も設定できました。また、福島県での出前授業も活発化し、その後の支援拡大に繋がっています。
- ③ ベトナム・ドンズー日本語学校の日本への留学生と共同で、ベトナムでのソフト支援や交流事業の拡大・進化を推進しています。

(2) 国際理解教育への貢献事業

- ① 8月5日：第12回・AEFAフォーラムを新宿区ポプラ社講堂にて開催
今年度のフォーラムは支援者・会員・ボランティアを中心にAEFA仲間の情報交換の場にするのを主目的のものとしました。新規支援候補者の参加もあり、参加者は教師OB・ボランティア・AEFA関係者・支援者など合計56名でした。
出前授業の感想発表のほか、様々な立場の参加者からAEFA活動に対するアドバイスを頂きました。活動の幅の拡大と新たな活動のヒントとなりました。
- ② 本年度も交流事業や出前授業は充実しました。東京都教育委員会推薦が継続され、新規問い合わせも増え、都内での出前授業は35回、福島県/25回、福井県/6回、その他/11回 合計77回実施、累計では650回となりました。特に交流に熱心な教師との出会いは「熱血教師の会」結成への足掛かりとなる一方、教師以外の新規の講師候補者も出始めています。今後はこれらの教師・教師OBとともに国際理解教育の推進や交流事業の進化を図りたいと思っています。
- ③ 講演会の実施：保護者に対する講演会(複数回)及び、北陸東海6県の人権擁護委員会総会での講演(7月7日)、TED札幌での発表(7月16日)などを行い、AEFA活動への理解を深めて頂きました。

(3) 教師の養成及び教育の場の質向上支援事業

ラオスにおいて教師養成奨学金支援と教師研修会を継続実施しました。

今年度の教師養成奨学金は12名を対象に支援。2017年10月に6名が卒業しましたが、新規教師枠の不足(サラワン県として予算不足＝給料の遅配も生じている)の為、待機中となっています。今後、AEFAとしては教育局と交渉し、教師不足のAEFAの学校への教師割り当て交渉を進めたい。なお、現在20名が教師養成短大で学んでいます。又、教師のスキルアップ合宿研修会を実施、約90名の教師が参加しました。

3) 広報活動について

今年度も広報活動を積極的に進め、AEFA会報は2回(24号,25号)発行しました。また広報活動の一環として、TED札幌に登壇して世界への発信のきっかけとすると共に、TV局との接点を探るなど、マスコミ対応では引き続き積極的にアプローチしました。

3 事業の実施に関する事項

当期収入額	160,754千円＝一般寄付他158,398＋会員会費1,900＋他456
当期支出額	154,736千円＝建設事業費136,286＋交流事業費10,256＋管理費8,194
当期事業収支	6,018千円・・・(期末正味資産＝56,354千円)

<対事業支出額内訳>

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
建設事業	① <学校建設> ベトナム・ラオス・タイ・スリランカの山岳地域の学校建設及びメンテ ② <地域自立支援> 学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援 ③ <教師育成事業> 奨学金事業及び研修会など	2017. 1. 1～ 12. 31	4カ国 22校	6名	地域の住民及び子供生徒数： 1校平均150名程度＝ 合計 3000名 教師数：130名 奨学金：短大生15名 小中生50名 研修会：教師80名	136, 286
交流事業	① 現地建設校と日本の学校との教育関係者同志の交流、児童の作品交換などを通じての姉妹校提携推進 ② 出前授業：福島県・福井県31回。首都圏46回。合計77回(累計650回) ④ 東京フォーラム	2017. 1. 1～ 12. 31 2017. 1. 1～ 12. 31 2017. 8. 5	4カ国 115校 (日本75校) (海外30校) 各地域 ポプラ社	6名 8名 6名	現地1校当り 約100名 日本1校当り 約100～200名 各回：約100～150名 合計：約8,000名 教育関係者他：50名	10, 256

別表—1 2017年度 建設校一覧

	国名	地域	学校名	備考 (敬称略)
1	ベトナム	トゥエンクアン省	スアンバン小/ソンハ分校*	銀河ネットワーク
2			キエンティエット小/ティエンタン分校	ディアーズ・ブレイン
3			クアントウルン小*	エルセラーン1%クラブ
4			クアントウルン小/ラムトゥルン分校*	エルセラーン1%クラブ
5			トゥルンタン分校*	浅田 一憲
6		タイグエン省	ソムニョ小学校	株式会社フォーサイト
7		バクザン省	カオロイ小学校	株式会社カナオカ
8		クアンナム省	ホアンバントウ小学校	鎌倉学園ヴァンタンプロジェクト
9	ラオス	サラワン県	サティエム小学校	佐久間 福子
10			チャンタイ小学校	株式会社菊三(名古屋パクター)
11			ファイラ中学校増設	株式会社やすらぎの部屋・小野勤 跡見学園 中学校高等学校
12			パスム小学校 増設*	椎木 タカ
13			クムーン小学校*	一家 恵理
14			カナオ小学校*	株式会社カナオカ
15			タームアングアオ小学校	エルセラーン1%クラブ
16			ハンヘン小学校	彦建設株式会社
17		チャンパサック県	ファイルーシ小学校	藤原 和博
18			カイディヤオ小学校 幼稚園 *	川邊 恵美
19	ドンコクグア小学校		株式会社カナオカ	
20	ムンガオ小学校*		戸部 克信	
21	タイ	チェンマイ県	クンメーナイ小学校	溝辺 裕
22	スリランカ	ケゴール地区	ギリウラ・マヒンダ小学校	長野篠ノ井ライオンズクラブ

*は現在建設中(9校=ベトナム4校+ラオス5校)

別表—2 2017年度 その他・支援一覧

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. ラオス:ノンテノイ中学校 図書室、ノンテノイ小学校 図書スペース | 国際学校建設支援協会 (ISSC) |
| 2. ラオス:ファイラ小・チャンタイ小 子供権利擁護プロジェクト | セカンド・オピニオン、トレノケート |
| 3. ラオス:ラック33小学校 修学旅行 | 肥後 良孝 |
| 4. ラオス:ノンコーソン小学校 プレイコート | 谷川 裕 |
| 5. ラオス:ノントウム小学校 書籍・水タンク他フォローアップ | ブロードウェイ株式会社 |
| 6. ベトナム:レロイ小学校・交流支援+パソコン | 袋井市ワンコイン・スクールプロジェクト基金 |
| 7. ベトナム:レロイ小卒業生 ヒエップドゥップ少数民族中等学校生徒 ミンさん奨学金 | 国際ソロプチミスト袋井 |
| 8. ベトナム:青葉奨学金=AEFA学校卒業生 | 銀河ネットワーク・中村洋子 |
| 9. ベトナム:暖かい冬を届けるプロジェクト=冬服支援 | 昭和小学校・株式会社フォーサイト |
| 10. ベトナム:南部10校合同運動会・他交流 | 株式会社フォーサイト |

(尚、以上の他にも、パナソニック株式会社からのソーラーランタン、株式会社東京黒板製作所からのミニ黒板、クラウドファンディングによるミニ黒板の支援など、多くの方から多様な形で、ソフト支援・交流支援も頂いたこと、付言します)